

病院実務実習関連アンケート調査結果報告

薬学生病院実習検討委員会

【はじめに】

薬学生病院実習検討委員会では2016年1月～2月に病院実務実習受入状況等および「改訂モデル・コアカリキュラム」、「薬学実務実習に関するガイドライン」について会員施設にアンケート調査を実施しましたので、結果について報告いたします。

【実習受入状況等について】

会員施設194施設に対しアンケートを配布し、83施設（42.7%）から回答を得た。

回答施設全体では220名の認定実務実習指導薬剤師が在籍していた。また、日本病院薬剤師会認定指導薬剤師は72名であった。

27年度受入状況				計 638
	機構	独自	付属	小計
I期	2	142	65	209
II期	3	143	66	212
III期	2	101	64	167
その他	0	41	9	50

28年度受入予定				計 735
	機構	独自	付属	小計
I期	5	165	76	246
II期	10	168	75	253
III期	9	131	45	185
その他	0	42	9	51

27年度早期体験学習受入											
04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月
6	15	0	40	272	14	10	0	0	0	0	0

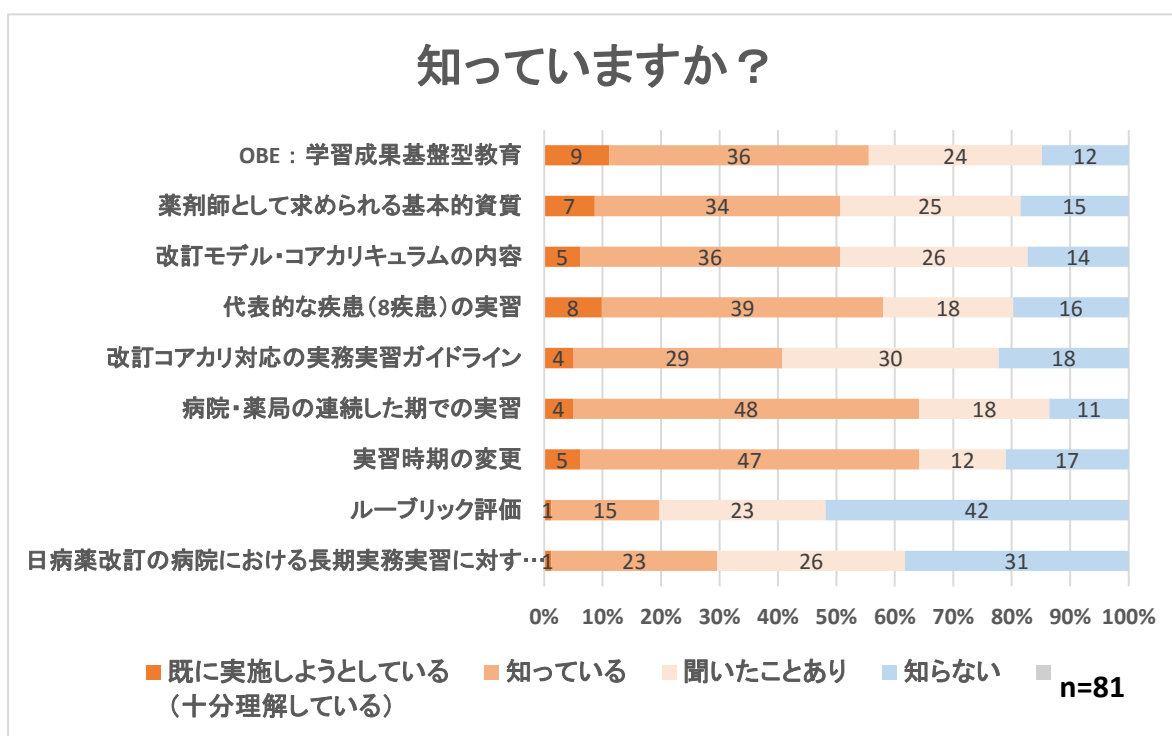
【「改訂モデル・コアカリキュラム」、「薬学実務実習に関するガイドライン」について】

会員施設 194 施設に対しアンケートを配布し、82 施設（42.2%）から回答を得た。

<改訂モデル・コアカリキュラム・薬学実務実習に関するガイドラインについての調査>

【設問】 知っていますか？

1. 学習成果基盤型教育（OBE；Outcome-Based Education）
2. 「薬剤師として求められる基本的資質」
3. 改訂モデル・コアカリキュラムの内容
4. 「代表的な疾患（8 疾患）」
5. 「実務実習ガイドライン」
6. 「薬局実習－病院実習」または「病院実習－薬局実習」といった連続した期での実習
7. 実習時期の変更
8. 「ルーブリック評価」
9. 日本病院薬剤師会改訂「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」



「学習成果基盤型教育」、「薬学生として求められる基本的資質」、「改訂モデル・コアカリキュラム」の内容は 50%以上が内容を知っているまたはすでに意識していると回答した。しかし、半数近くの施設では内容が十分に知られていないことが判明した。「代表的な 8 疾患」については 60%近くが認識していた。

また、連続した期での実習の枠組み、実習期間の変更については 60%以上が知っている、すでに意識していると回答した。実際に学生を受け入れる施設にとって、実習の条件の変化である実習時期の変更、「薬局実習－病院実習」または「病院実習－薬局実習」といった連続した期での実習の

想定、実務実習の標準化のために「代表的な疾患（8 疾患）」の設定といったことは理解され、または関心を持っていることがうかがえる。

一方、内容の認知度が、「実務実習ガイドライン」40.7%、「ルーブリック評価」19.7%、改訂された「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」29.6%と、非常に低く、回答施設が実習受入施設であるとすれば、早急に対策を講じる必要があると思われた。

【最後に】

当委員会では、4月13日に「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習に関する講習会」を開催したが、再度周知のための講習会を開催する、あるいは大学側にも周知の機会を作ってもらう等の必要性があると考えています。

まずは、改訂コアカリ、実務実習に関するガイドライン、日病薬の基本的な考え方の理解が必要であり、実習受け入れ施設におかれては、下記の URL 等で内容をご確認いただきたく、ご案内いたします。

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム

薬学実務実習に関するガイドライン

→ 文部科学省 薬学教育

http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/08091815.htm

日病薬の長期実務実習に対する基本的な考え方

→ 薬学教育協議会 http://yaku-kyou.org/?page_id=116

ルーブリックとは

→ http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/015/attach/1314260.htm

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今後も薬学生病院実習検討委員会の活動にご協力をお願いいたします。